2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月5日作成)

小委員会名	建築外皮の多角的性能小委員会		主 査 名 :長谷川 巖 就任年月:2019年4月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)		委員長名 : 持田 灯 主 査 名 : 長井 達夫	
設 置 期 間	2019年4月 ~ 2021年3月			
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・初年度:業務系建物における、建築外皮に求められるべき性能や配慮事項を総合的に整理し、情報収集とともに性能に見合った外皮仕様についての検討・2年度:建築主や設計者へ情報提供するための、外皮性能と仕様を整理し、具体的な検討事例とともに、シンポジウム等で公表を行う。			
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無:無 主査:長谷川巌(日建設計)、幹事:佐々木邦治(丸の内熱供給)、委員:郡公子(宇都宮 大学)、望月悦子(千葉工業大学)、山口温(関東学院大学)、高田 暁(神戸大学)、 佐伯美奈子(アール・アイ・エー)、高井啓明(竹中工務店)、川島範久(東京工業大学)、 高瀬幸造(東京理科大学)、佐々木真人(日本設計)、舘景士郎(日建設計)、 中村駿介(三菱地所設計)、木下泰斗(日本板硝子)			
設置 WG (WG 名:目的)				
2020 年度予算	120000 円	ホームページ公開の有無:なし 委員会 HP アドレス:なし		

項目	自己評価
委員会開催数	5回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 — (資料名)
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	全5回に亘る小委員会開催をし、パラメトリック・スタディーを行いながら、 多様化する建築外皮に求められる評価方法を模索した。テーマを設定したディス カッションにより、今後のあるべき多角的な評価方法について議論を行った。コロナ禍での影響もありシンポジウムは実施出来なかったが、ディスカッション内 容をまとめることで代替し、概ね活動計画の目標は達成出来た。
委員会活動の問題点 ・課題	

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価 最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価) B C D	
本小委員会を5回開催し、外皮性能の事例調査、外皮性能評価試算のあり方について討議を行った。 名回小委員会の主な活動内容 ■第1回 2020/6/22 (Web 開催) ・外皮性能の事例調査 (ZEB における外皮性能、東京都環境計画書分析基準における外皮性能仕様) ・建築外皮のパラメトリック・スタディー ■第2回 2020/8/20 (Web 開催) ・次年度小委員会計画の審議 ・建築外皮のパラメトリック・スタディー ・建築外皮部価のアプローチの多様化 第3回 2020/10/15 (Web 開催) ・外皮性能の多角的検討のストーリー ・今年度のまとめに向けて ■第4回 2020/12/23 (Web 開催) ・外皮性能の多角的検討に関するディスカッション ①外皮素材と外皮性能の向上の技術革新 ②多様化・変化する評価指標の必要性 ■第5回 2021/2/24 (予定) (Web 開催) ・外皮性能の多角的検討に関するディスカッション ③社会情勢の変化と建築外皮の関わり ④既存評価指標の再解釈・再構築	

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、 小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。

A評価:小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度 B評価:小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度

C評価:小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度

D評価:小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度

● 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。